

## 平成29年度第1回東近江市中心市街地活性化協議会会議録

□日時：平成29年6月22日（木）15時00分～16時40分

□場所：八日市商工会議所4階大ホール

□参加者（敬称略）：以下、委員22名中21名内代理3名、監事2名中2名内代理1名が出席

【委員】高村会長（議長）、二橋副会長、富田、田中敏、中村、植田、上西、堤吉、森本、藤田、加藤、春名（代理 金子）、小玉（代理 山本）、服部、大橋、喜多（代理 木下）、平木、村田、向、（欠席：田中常）

【監事】今井、森（代理 堤利）

【アドバイザー】（欠席：及川、中島）

【事務局】伊藤、河上（八日市商工会議所）

木村、福間、吉田（一般社団法人八日市まちづくり公社）

【東近江市】中西（商工労政課長）、山下（総合政策課）

- 次第
- 1 開会挨拶
  - 2 委員の委嘱について
  - 3 議案（1）平成28年度事業報告について  
（2）平成29年度事業計画（案）について
  - 4 報告事項
  - 5 情報交換
  - 6 閉会

### 1 開会宣言及び高村会長挨拶

挨拶要旨：基本計画の策定と認定までに至ったことにつきましては、あらためて関係各位に厚く御礼申し上げます。この1, 2年が勝負である。新しい委員も加わっていただき、これからも忌憚のないご意見ご指導を賜りたく、よろしくお願ひしたい。

規約第8条に基づいて高村会長が議長となり、以下の議事を進行した。

### 2 委員の委嘱について

所属機関の異動等による後任者7名及び新規1名の委員が、規約第5条に基づき会長から委嘱されたことを事務局が説明した。続いて、委嘱を受けた以下8名の委員の挨拶があった。

植田すえ子（東近江市商工会女性部長）

森本成広（八日市ショッピングセンター協同組合理事長）

上西潔（八日市商店会連盟会長）

春名昌広（代理：金子三郎／合同会社西友八日市店副店長）、

服部敏紀（近江鉄道株式会社総合企画部長）

平木秀樹（東近江市企画部長）

村田吉則（東近江市商工観光部長）

向真史（八日市商工会議所副会頭）

### 3 議題

#### 議案①平成28年度事業報告について

平成28年度事業報告書に基づいた説明と、協議会の運営経費の精算については、一般社団法人八日市まちづくり公社が東近江市から委託を受けた東近江市中心市街地活性化協議会運営委託事業の範囲で処理がされたことを説明した。本案は異議なく承認された。

#### 議案②平成29年度事業計画（案）について

平成29年度事業計画（案）について説明した。

##### 《質疑応答》

- ・（協議会運営について）今後の会議では、予め具体的な協議内容の提示をお願いしたい。  
事務局回答：そのように努める。但し補足して、計画記載の事業進捗管理だけではなく、計画の追加や変更修正について協議する機会も出てくる。委員の皆様からの新たな民間活力事業の提案とその協議の場としても随時運営を行う予定である。
- ・（情報発信活動について）協議会のホームページにて、地域活動の情報発信をしたい。情報提供すれば掲載してもらえるか。  
事務局回答：協議会ホームページ、八日市まちづくり公社が管理するSNS等を活用して情報発信するので、情報提供してもらいたい。

以上の質疑応答の後、本案は異議なく承認された。

### 4 報告事項

認定東近江市中心市街地活性化基本計画について／東近江市総合政策課

### 5 情報提供及び意見交換

（委員）中心市街地活性化ソフト事業の詳細を知りたい。

東近江市回答：総務省の特別交付税措置事業であり、市町村への財政支援措置である。そのソフト事業に対して市が100万円以上の財政支援を行っている等の要件がある。

（委員）清水小脇まちづくり委員会が現在実施している事業を報告するとともに、周辺整備事業の具体化に向けて、引き続き皆様の協力と支援をお願いしたい。

（委員）中心市街地活性化の成果を上げるためには、効果測定と検証の過程が大事である。協議会は、その役割も担っているものとする。

（委員代理）東近江市観光協会では、まち歩きツアーを実施している。点から面的な観光誘客を進めるため、最近制作された観光マップや飲食店マップも活用しながら、中心市街地に賑わいを作り出していきたいと考えている。

（委員代理）たねや八日市の杜は、旧店の前年比180%の売上げを出している。本当においしいものを伝えるべく、政所茶を使った商品提供を始めた。要望として、敷地周辺の景観改善をお願いする。

（委員）予め議題を共有することがより具体的で詳細な議論につながると考える。次回に期待する。

（委員代理）若い人たちが集まってもらえることが基本と考える。その基本づくりを中心に添え

た上で、活性化事業を進めてもらいたい。

(委員) 議論のたねを用意してこそ活発な議論が生まれる。人が集い人が流れる、地域の核となるまちにするために、我々は議論しなければならない

(八日市商工会議所) 中心市街地の新規出店目標数の達成に向けて、「創業塾」事業やウェルカムショップ支援事業を継続して取り組んでいる。本年は新規2出店を数えたところである。イベント事業に関しては、7月に聖徳まつり、10月に東近江バルを実施する。

(八日市まちづくり公社) 中心市街地活性化事業の成果を、市民に実感として伝える役目を担っている。市街地マップ事業、空店舗対策事業の協同をはじめ、見える化を意識しながら、具体的な取り組みを順次行っている。

(東近江市) 延命新地地区街なみ環境整備事業及び中心市街地まちなか交流館整備事業設計監理業務に係る業者公募が始まっていることについて説明を行った。

## 6 閉会

以上